カラー／グレースケール画像間における印象評価の相違

— 「かわいい」は「魅力的」と一致するのか

○藏口 佳奈

(追手門学院大学)

キーワード：印象評価, かわいさ, 色

The difference between rated cuteness and attractiveness in color/greyscale images

Kana Kuraguchi

(Otemon Gakuin University)

Key Words: impression, cuteness, color

序論

「かわいい」という印象を喚起するものとして、色、形、音、手触りなど様々な要因が挙げられている (e.g. Cheok & Fernando, 2012)。そのため、画像におけるかわいさの評価は、画像の色や被写体のカテゴリーによる影響を受けていると考えられる。本研究では、同一刺激のカラー画像とグレースケール画像を評価させ、その評価が一貫しているか否かを検証することで、画像のかわいさにおける色の効果を明らかにする。また「かわいい」という評価は評価対象が顔の場合、「魅力的」や「美しい」と強い関連が示されている (Kuraguchi et al., 2015)。本研究では動物や風景などの画像を使用し、評価対象がヒトの顔とは異なる場合でも「かわいい」と「魅力的」の評価に関連が生じるのか検討することで、「かわいい」と「魅力的」の評価軸の相違も明らかにする。

方法

実験参加者： 大学生・大学院生39名 (男性22名, 女性17名, 平均年齢22.8歳 (SD = 3.05)) が参加した。

実験刺激： 動物, 花, 風景, 食べ物などの写真を使用した。刺激は全部で117枚であった。刺激画像はカラー画像とグレースケール画像を用意し, 実験参加者にはそのどちらかを観察および評価させた。

手続き： 実験参加者はパソコンモニターに提示される画像を4秒間観察した後, 画像の評価を7段階でキー押しで回答した。評価項目は, 「かわいさ」「魅力度」「快」の3種類であり, 評価項目ごとにブロック化され, 評価順序は参加者間でカウンターバランスをとった。

結果

カラー画像とグレースケール画像で評価傾向が一致しているか検討するため, 全画像117枚の評価結果を対象に評価項目ごとに相関係数を算出したところ (Fig. 1), 「かわいい」「魅力的」「快」の3評価項目すべてにおいて, 強い正の相関が見られた ($r > .81, p < .01$)。また, すべての評価項目においてカラー画像の方がグレースケール画像よりも評価値が有意に高かった ($t(116) > 4.07, p < .01$)。

次に, 各評価項目間の相関を検討したところ (Fig. 2), グレースケール画像においてはすべての評価項目間で有意な相関が見られたが ($r > .46, p < .01$), カラー画像においては魅力度と快の間でのみ有意な相関が見られた ($r = .91, p < .01$)。

また, 動物を被写体とした刺激画像だけを用いて分析したところ, カラー画像・グレースケール画像ともに, すべての

考察

すべての評価項目において, カラーとグレースケール間で強い相関が生じ, カラーはグレースケールよりも評価値が有意に高かったことから, かわいさ, 魅力度, 快はいずれも, 形やカテゴリーに基づく判断に起因しているが, 色によってその判断が高められる傾向があると言える。

また, 魅力度と快は画像のカラー／グレースケールの違いによらず, 強い正の相関が生じた一方で, カラー画像におけるかわいさは, 魅力度とも快とも有意な相関を示さなかった。しかし, 動物を被写体とした場合にはすべての評価項目間で強い相関を示していた。つまり, かわいさと魅力度の関連が強まるのは動物やヒトの顔に対する評価時であり, その他の評価対象 (特にカラー画像の場合) においては両者の評価基準が異なる可能性が示唆された。

引用文献

- Cheok, A. D. & Fernando, O. N. N. (2012). *Univ Access Inf Soc*, 11:295-309.
Kuraguchi, K., Taniguchi, K., & Ashida, H. (2015). *SpringerPlus*, 4:164

Fig.1 The correlations of rated scores between color and greyscale images

Fig.2 The correlations between rated cuteness and rated attractiveness